

企業分析レポート

～NVIDIAの成長性の分析～

作成日 2024/12/04
提出日 2024/01/15

情報連携学部 情報連携学科
廣瀬 遥介

目次

01. 調査対象とする企業

02. 仮説

03. 調査分析

 分析1. 経営戦略

 分析2. 売上構成

 分析3. 業績

 分析4. 成長期期待

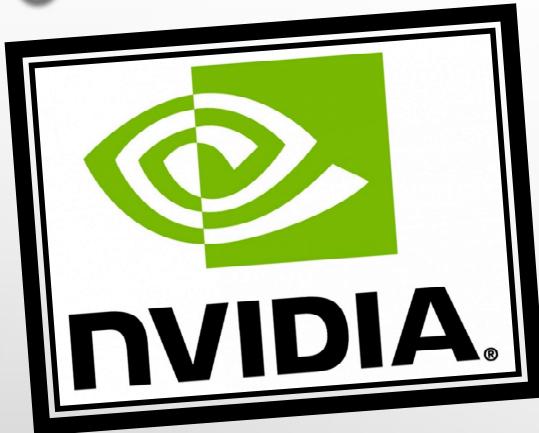
04. 調査分析結果

05. 結論

06. 今後の展望

07. 参考文献

01 調査対象とする企業



- NVIDIAの説明

主にネットゲームや画像処理に特化した
ボード(GPU)の生産販売を行っている企業

時価総額： 約3.31兆

現在世界2位！

CEO： ジェンスン・ファン

企業理念： 「人にはもっと人らしい仕事を」

← 本社（アメリカ合衆国カリフォルニア州サンタクララ）

- NVIDIAを選んだ理由

- 日本を代表するゲームメーカーである任天堂がNVIDIAの技術を採用していると聞いてどのような企業であるか詳しく知りたかったから
- NVIDIAについては知っていたが成長性や業績という観点の視点で見ることが少なかったから



資料 I

<https://blogs.nvidia.co.jp/blog/nintendo-switch/>

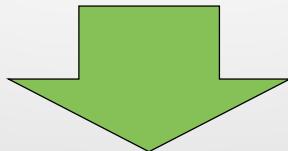
NVIDIA の技術が任天堂の新ゲーム機「Nintendo Switch」に採用されました。

02 仮説

- ・分析前の自分自身のNVIDIAの認識

NVIDIAは業績が好調である任天堂のサプライヤーである

- ・仮説の設定



私はNVIDIAはこれからも成長できると考える

03 調査・分析 / 仮説の検証

・検証方法

- ・比較対象を行う企業として同じ半導体メーカーの大企業であるIntelと比較して4つの分析から調査を行う。

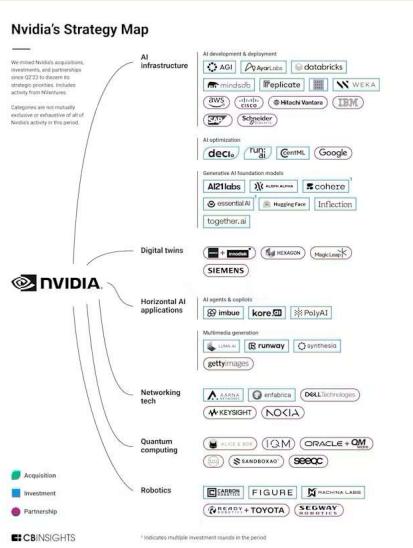
→IntelとNVIDIAはどちらも半導体メーカーの主導者としてデファクトスタンダードな販売を可能としている。これら2社の経営戦略の違いや成長率を見てNVIDIAが成長できる仮説についての結論を導き出す。

・分析方法

- ・分析内容は「経営戦略」「売上構成」「業績」「成長期待」である。
「売上構成」を分析対象としていた理由として競合他社が市場での強みを持ち合せた場合に収益性を他の分野でまかなうことができるかについての検証も行うことができる。

分析Ⅰ 経営戦略

・NVIDIAの経営戦略



資料2 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOU01IJ70R00C24A7000000/>
NVIDIAの成長戦略
6Gなどの次世代技術とAI融合

- NVIDIAは経営戦略でAIを活用した経営戦略を計画している。
→ 成長の見込みのある市場の開拓

・Intelの経営戦略

インテルの戦略

インテルは、世界全体がデジタル化する中、当社の豊富なソフトウェア、シリコンとプラットフォーム、および大規模製造によるパッケージングとプロセスを活用できる独自の立場にあります。

この利点が、インテルをインテルらしくしているものです。

製品のリーダーシップ

Intel x86 と XPU でコンピューティングをリードし民主化する

新しいデータ中心の世界のニーズに対応するために PC 中心の企業を超えて変革する中で、当社は製品提供を拡大して、エッジコンピューティングから 5G ネットワーク、クラウド、新興分野までのエンターテインメントソリューションを提供してきました。AIや自動運転のこと。

インテルは、幅広い市場にわたってますますスマートでつながりのある世界の構築要素として、新しい半導体テクノロジー、製品、ソリューションの開発の最前線に立っています。

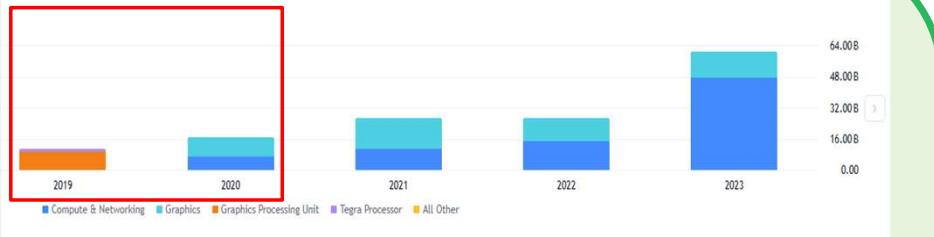


資料3 <https://www.intel.co.jp/content/www/jp/ja/company-overview/company-overview.html> Intel Company Overview and Future of Technology

- Intelは経営戦略でデファクトスタンダード戦略を行っている。
→ 競争優位性の構築

分析2 売上構成

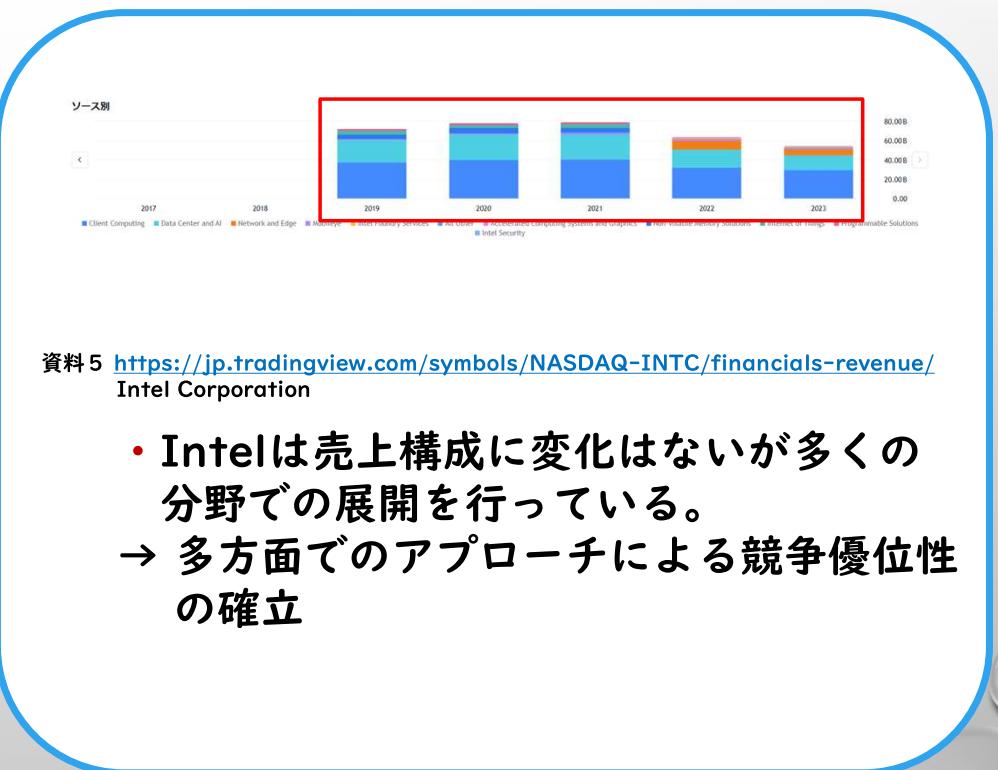
- NVIDIAの売上構成



資料4 <https://jp.tradingview.com/symbols/NASDAQ-NVDA/financials-revenue/NVIDIA>

- NVIDIAは2020年から売上構成に変化がある。
→ 新たな市場の開拓

- Intelの売上構成



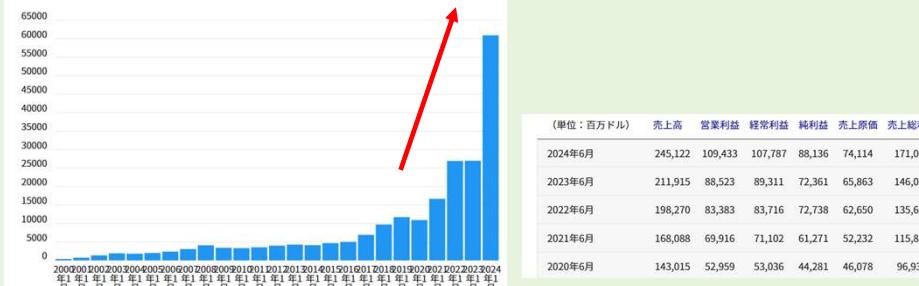
資料5 <https://jp.tradingview.com/symbols/NASDAQ-INTC/financials-revenue/Intel Corporation>

- Intelは売上構成に変化はないが多くの分野での展開を行っている。
→ 多方面でのアプローチによる競争優位性の確立

分析3 業績

• NVIDIAの業績

NVIDIAの業績推移

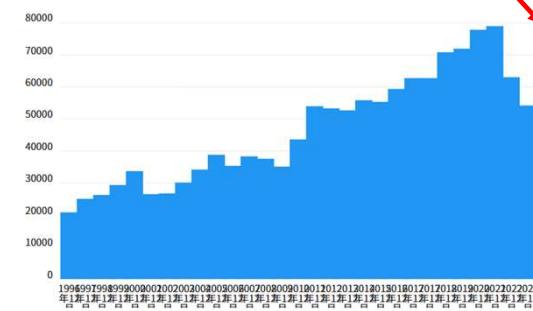


資料6 <https://strainer.jp/companies/8778/performance>
NVIDIA【NVDA】業績・財務データ NASDAQ

- NVIDIAは近年から業績が急上昇している。
→ 現在のNVIDIAは成長している。

• Intelの業績

インテル・コーポレーションの業績推移



資料7 <https://strainer.jp/companies/8201/performance>
インテル・コーポレーション【INTC】業績・財務データ

- Intelは2022年から業績が下落している。
→ 現在は衰退している。

分析4 成長期期待

• NVIDIAの株価



資料8

[https://www.google.com/finance/quote/
NVDA:NASDAQ?sa=X&ved=2ahUKEwjitavI7eSKAxVOyzQHHeMSBd4Q3ecF
egQIQRAX&window=5Y](https://www.google.com/finance/quote/NVDA:NASDAQ?sa=X&ved=2ahUKEwjitavI7eSKAxVOyzQHHeMSBd4Q3ecFegQIQRAX&window=5Y)

NVIDIA \$140.14

- NVIDIAの株価は近年から急上昇している。
→ 株主の期待は大きくなっている。

• Intelの株価



資料9

<https://www.google.com/finance/quote/INTC:NASDAQ?window=5Y>
インテル \$20.01

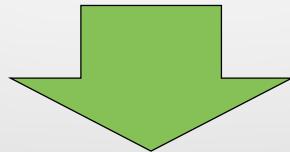
- Intelの株価は近年から下落している。
→ 株主の期待は無くなっている。

04 調査・分析結果

- ・分析1の結果からNVIDIAは経営戦略でAIを活用した経営戦略を計画している。
→ 成長性の見込みがある市場の開拓
- ・分析2の結果からIntelは売上構成に変化はないがNVIDIAに関しては2020年を境に売上構成に大きな変化があることが分かる。
→ 新たな市場の開拓
- ・分析3の結果からIntelと比べてNVIDIAの業績は急上昇していることが分かる。
→ 現在は急成長している
- ・分析4の結果からIntelと比べてNVIDIAの方が成長が期待されている。
→ 多くの人々がこれからも成長できると予想している

05 結論

- ・分析1、分析2の結果からNVIDIAは期待されている市場（成長性のある市場）での開拓を行っている。
- ・分析3、分析4の結果からNVIDIAは現在も成長しており、多くの人々がNVIDIAの成長を期待している。



NVIDIAはこれからも成長できるという仮説は正しい

AI(ChatGPT)の結論

NVIDIAの方が成長の可能性が高いと考えられます。

理由は以下の通りです：

1.AIとGPU市場の需要

NVIDIAはAIや機械学習の分野でGPU市場を独占的にリードしており、生成AI（例えばChatGPTやDALL-Eなど）の需要が急増しているため、収益の成長が期待されています。

2.データセンター事業の拡大

データセンター向け製品はNVIDIAの収益の大部分を占めており、クラウドコンピューティングやAI関連技術の普及によりさらなる拡大が見込まれます。

3.ソフトウェアとエコシステムの強化

NVIDIAはGPUに特化したソフトウェアプラットフォーム（CUDAなど）を提供しており、これが競争優位性を高めています。

一方でIntelは、CPU市場での競争や製造技術の課題が続いているため、AI分野やGPU分野でのシェア拡大が遅れています。ただし、Intelもファウンドリ事業や新技術の開発で復活の可能性はありますが、短期的にはNVIDIAの方が有利でしょう。

01/06/2024 14:35 JST

06 今後の展望

- ・今回の分析で出来なかったNVIDIAが成長できることについての具体的な事業や具体的な内容についてこれからの分析では詳しく調べたいと思う。
特に、NVIDIAが2020年に分析2の売上構成が変化した理由について調べたい。
- ・NVIDIAの歴史について分析を行いNVIDIAについて深く知っていきたい。
- ・NVIDIA以外で世界を牽引する企業についても同様の分析を行って
今後の世界の動向についての結論や仮説を出したい。
- ・フレームワークを用いた分析で企業について深く知り、企業ごとの戦略を
仮説という形で自分自身でも計画してみたい。

07 参考文献

・資料一覧

資料1 <https://blogs.nvidia.co.jp/blog/nintendo-switch/> NVIDIA の技術が任天堂の新ゲーム機「Nintendo Switch」に採用されました

資料2 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC011J70R00C24A7000000/> NVIDIAの成長戦略 6Gなどの次世代技術とAI融合

資料3 <https://www.intel.co.jp/content/www/jp/ja/company-overview/company-overview.html> Intel Company Overview and Future of Technology

資料4 <https://jp.tradingview.com/symbols/NASDAQ-NVDA/financials-revenue/> NVIDIA

資料5 <https://jp.tradingview.com/symbols/NASDAQ-INTC/financials-revenue/> Intel Corporation

資料6 <https://strainer.jp/companies/8778/performance> NVIDIA【NVDA】業績・財務データ

資料7 <https://strainer.jp/companies/8201/performance> インテル・コーポレーション【INTC】業績・財務データ

資料8 <https://www.google.com/finance/quote/NVDA:NASDAQ?sa=X&ved=2ahUKEwjitavI7eSKAxVOyzQHHeMSBd4Q3ecFegQIQRAX&window=5Y>
NVIDIA\$140.14

資料9 <https://www.google.com/finance/quote/INTC:NASDAQ?window=5Y> インテル \$20.01

・添付画像

画像1 <https://cloudfront-us-east-2.images.arcpublishing.com/reuters/B3OKM5474JMZHQCSEEX6G7IGZU.jpg>

画像2 https://www.macnica.co.jp/business/maas/products/NVIDIA_Logo_V_ForScreen_ForLightBG.png

画像3 https://asset.watch.impress.co.jp/img/car/docs/1175/926/001_l.jpg

画像4 <https://chatgptjapan.org/wp-content/uploads/2023/08/cropped-chatgpt-icon-logo.png>

画像5 <https://media.loom-app.com/bi/dist/images/2023/11/20/654e58de3cc84b4dfa001ad6.jpg?w=1280>

画像6 https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/thumb/f/ff/Yuan_3DS-100.jpg/1200px-Yuan_3DS-100.jpg

生成AIの活用の記録

質問：

NVIDIAの成長できるか仮説を検証するために必要となる可能性となる企業分析について教えて

回答：

NVIDIAの成長可能性を検証するためには、企業分析を通じて現在の強み・弱み、業界動向、競争環境、そして将来の成長ドライバーを深く理解する必要があります。

以下は、仮説を検証するための具体的な分析のポイントと方法です。

1. 市場と競争環境の分析

(1) 主要市場の成長性

- ・NVIDIAが現在ターゲットとしている市場（例：GPU市場、データセンター、AI、クラウドコンピューティング、自動運転車）
- ・成長率や規模を分析。

- ・ 方法：市場レポートや予測データ（Gartner、IDCなど）を調査。

- ・ 指標例：市場規模（CAGR）、地域別の成長率、業界の主要プレイヤー。

(2) 競争優位性

- ・NVIDIAの製品や技術が競合他社（AMD、Intel、Google、Appleなど）に対してどの程度優位性を持つかを評価。

- ・ ポイント：

- ・ 技術的リード（例：GPUの処理性能、消費電力効率、CUDAエコシステムの広がり）。
- ・ 特許ポートフォリオや製品開発力。

- ・ 他社との比較分析。

(3) 競合企業の動向

- ・同業他社の成長戦略（M&A、新技術開発、新市場参入など）を調査。

例：AMDのGPUシェア拡大戦略や、Google/MetaによるAI専用チップ開発の影響。

2. 財務分析

(1) 成長率の確認

- ・過去数年間の売上高、利益率、EPS（1株当たり利益）の成長率を分析。

- ・ 方法：財務報告書やアニュアルレポートの確認。

- ・ 指標例：

- ・ 売上成長率（前年比/四半期比）。
- ・ 営業利益率、純利益率。
- ・ キャッシュフローの推移。

(2) 収益構造の分散性

- ・NVIDIAの売上構成を分解し、依存度が高いセグメントやリスクを特定。

- ・ ポイント：

- ・ ゲーミング vs データセンター vs 自動車セグメント。
- ・ 特定の地域市場依存度（例：中国市場のリスク）。

(3) 研究開発（R&D）投資

- ・R&Dへの投資が収益成長にどのように貢献しているかを分析。

- ・ 指標例：R&D費用の割合と新製品開発・売上へのインパクト。

このような多角的な分析に基づいて、NVIDIAが今後どのように成長していくか、そしてそのためのリソースや戦略の充実度を見極めることができます。特に、AI市場の加速やデータセンター市場の拡大といったテーマは、NVIDIAの成長を測る重要な要素となります。

12/16/2024 18:16 JST

質問：

NVIDIAとIntelではどちらの方が成長できると思いますか？理由も含めて簡潔に述べてください

回答：

NVIDIAの方が成長の可能性が高いと考えられます。理由は以下の通りです：

1. AIとGPU市場の需要

NVIDIAはAIや機械学習の分野でGPU市場を独占的にリードしており、生成AI（例え ChatGPTやDALL-Eなど）の需要が急増しているため、収益の成長が期待されています。

2. データセンター事業の拡大

データセンター向け製品はNVIDIAの収益の大部分を占めており、クラウドコンピューティングやAI関連技術の普及によりさらなる拡大が見込まれます。

3. ソフトウェアとエコシステムの強化

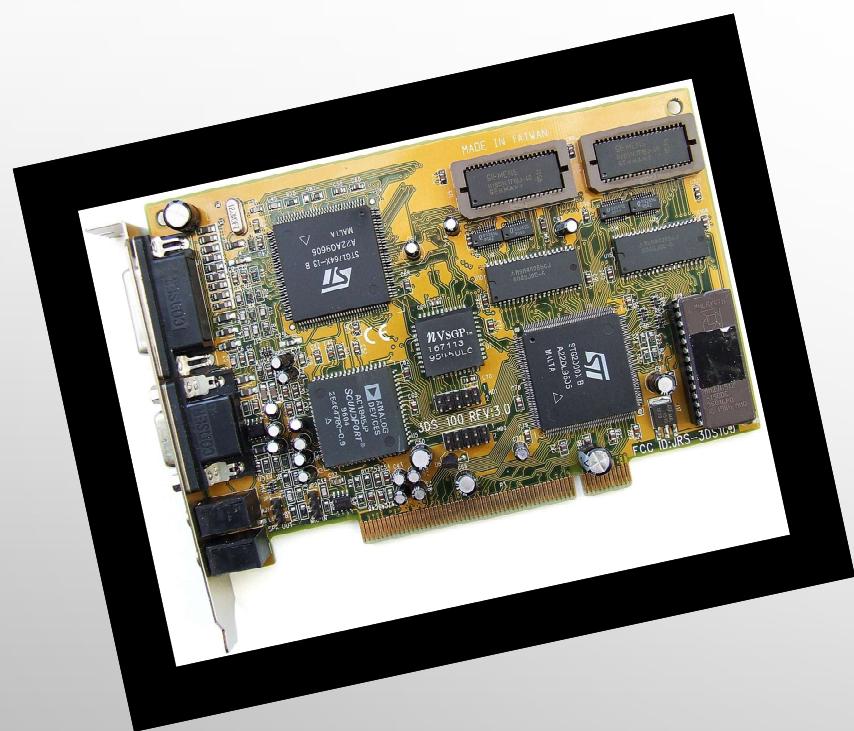
NVIDIAはGPUに特化したソフトウェアプラットフォーム（CUDAなど）を提供しており、これが競争優位性を高めています。

一方でIntelは、CPU市場での競争や製造技術の課題が続いているため、AI分野やGPU分野でのシェア拡大が遅れています。ただし、Intelもファウンドリ事業や新技術の開発で復活の可能性はありますが、短期的にはNVIDIAの方が有利でしょう。

01/06/2024 14:35 JST



ChatGPT



END